

XXIV. 南アフリカ

<要約>

	概要	特徴
1. 市場環境の特徴	<p>○社会構造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総人口：5,587万人（世界第24位、2016年IMF推計） 	
	<p>○経済環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人当たりGDP：5,018ドル（世界第97位、2016年IMF推計） ・ 実質GDP成長率：0.1%（2016年IMF推計） ・ 1現地通貨（ランド）：8.59円（2016年12月末） 	
2. 金融制度の概要	<p><金融制度></p> <p>○銀行業態（機関数、総資産シェア、根拠法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商業銀行 <ul style="list-style-type: none"> - 国内銀行（16、93%、Banks Act） - 外国銀行の支店（14、6%、Banks Act） - 相互銀行（3、0.1%、Mutual Banks Act, Mutual Banks Amendment Act） - ポストバンク（1、0.1%、South African Postbank limited Act） - 協同組合（16、0.005%、Co-operative Banks Act） <p>○預金保険制度：未導入。</p>	<p>○多くの外国銀行も事業を展開。南アフリカは、アフリカ大陸における一大金融センターの地位を占めている。</p> <p>○全国の郵便局を通じてサービスを提供するポストバンクが、これまで銀行口座を保有していなかった階層にも金融サービスを提供している。</p>

<p>3. ポストバンクの現況</p>	<p>○郵便貯金制度・経営形態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2010 年に南アフリカポストバンク会社法が發布され、ポストバンクは南アフリカ郵政事業会社の一部門から、独立した法人になることが規定された。 ・ 2013 年 9 月に南アフリカ準備銀行に銀行設立のための申請書を提出、2016 年 7 月に一次審査を通過した。2017 年 7 月に ポストバンクは銀行として登録される見通し。 <p>○金融サービス提供の形態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2010 年南アフリカポストバンク会社法で、銀行サービスのユニバーサルかつ容易なアクセスを促進することを規定。 <p>○預金業務と送金・決済業務</p>	<p>○全国1,520の郵便局と747の簡易局において金融サービスを提供。</p> <p>○預金商品には、大別して定期預金と貯蓄預金の2つがある。</p> <p>○3種のデビットカードを提供。</p>
<p>4. 金融セクターにおけるリアル金融機関の特徴</p>	<p>○金融機関に口座を持つ成人の割合は、全成人で70%、成人女性も70%、所得が低い方から40%の家計に属する成人が25%である（世界銀行2014年調査）。</p> <p>○かつて銀行は中高所得者層が利用するものであり、国民の過半は銀行口座も保有していなかった。2004年に「金融セクター憲章」という一種の社会協約が結ばれ、金融包摂の問題にも対処していくこととなった。</p>	<p>○アフリカで、金融口座の保有者が全成人で65%以上は、ケニアと南アフリカだけである。</p> <p>○銀行業界は共同歩調を取って、低所得者向けの基本的な銀行口座（Mzansi）を創設した。Mzansiに参加したのは、4大銀行とポストバンクである。</p>
<p>5. 最近の金融動向と今後の展望</p>	<p>○2014年8月に無担保ローンの不良債権が問題化した African Bankが南アフリカ準備銀行（SARB）により管理下（under curatorship）に入った。ベイルインを行った上で、African Bankはグッドバンクとバッドバンクに切り分けられ、2016年4月から新銀行として営業を開始した。</p> <p>○モバイルネットワークを利用した金融サービスが急速に普及。</p> <p>○郵貯の経営形態の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2013 年 9 月に、ポストバンクは銀行免許を申請。 ・ ポストバンクは法人化準備中であり、2017 年 7 月に銀行として認可される見込み。 	